

県連情報

群馬県生活協同組合連合会

前橋市大手町 3-19-3

TEL 027 - 234 - 2376

2月号 (No.72)

2011年2月4日発行

「県連情報」はホームページでもご覧いただけます

<http://gunma.kenren-coop.jp/>

Eメール: mail@gunma.kenren-coop.jp

2011年新春交歓会で交流・親睦

1月12日(水)

群馬県生協連主催による新春交歓会が1月12日(水)、ロイヤルチェスタ前橋で開催され、県生活文化部、県消費生活課ほか関係諸課、JA群馬中央会や中央労働金庫群馬県本部などの友誼団体、日生協中央地連、会員生協・県内非会員生協の役職員、県連役職員など49名が参加しました。



中嶋源治県連会長(写真左)が主催者代表の挨拶を述べたあと、来賓を代表して小此木久美子群馬県生活文化部長、池田隆政JA群馬中央会参事、本間章治日本生協連中央地連事務局長



からご挨拶をいただきました。また、群馬県連の初めての準会員となったよつ葉生協が紹介されました。

左から小此木久美子部長、池田隆政参事、本間章治事務局長

会場は新春にふさわしく熱気につつまれ、参加者は懇親と交流を深めあいました。

新年にあたって

群馬県生活協同組合連合会
会長理事 中嶋 源治

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

2010年を振り返りますと、私たちをめぐる状況は様々なことがありました。

自然災害では、日本や世界の各地で集中豪雨が発生し大きな被害となりましたし、夏の記録的な猛暑は、お米の被害や農産物の生育に大変な打撃となりました。地球温暖化の影響がこれらに現れているのでしょうか。日本経済は円高・株安が進行し、国の財政は超借金財政と大変厳しく行く先が見えない状況となり、私たちの生活不安は募るばかりです。平和の問題では隣国朝鮮半島での軍事衝突が大きな不安をもたらし、中国やロシアとの領土問題も平和を脅かしかねません。

新しい年2011年は、地球環境を守る活動を全ての事業者と消費者に広げる運動を強めて行かねばなりません。また、買い物難民とまで言われる高齢者や障害を持つ弱者へのお手伝いの取り組みや、「生協があって良かった」と地域の皆さんに実感していただける地域福祉の取り組みを会員生協とともに進めていきたいと思ひます。

経済が最悪の状況ですが、流通業界の競争は益々激しくなっています、こんなときだからこそ、県内の生協が力を合わせ、出来る協力・協同を進め諸課題を乗り越って行かねばならないと思ひます。

本年も昨年以上に群馬県生協連への結集を宜しくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「日本の生協の2020年ビジョン」学習会を開催

1月20日(木)

群馬県生協連は1月20日(木)、「日本の生協の2020年ビジョン(第1次案)」の学習会を開催しました。学習会には会員生協の役職員、組合員リーダーなど53名が参加し、講師に招いた日本生協連政策企画部長 小熊竹彦さんから説明を聴き、理解を深めました。

学習会では、まず「組合員の暮らしがかつてなくきびしさを増す時代にあつて、新たな時代の要請に応え協同組合の役割を発揮するために、新たなビジョンを掲げ挑戦していくことが必要」と、生協の2020年ビジョンを主体的に考える意味について説明がありました。ついで、このビジョン(10年後のありたい姿)を一言で表現する候補案や、「ビジョンを実現する5つのアクションプラン」について、スライドをまじえて大変分かりやすく講演して下さいました。



講師の小熊竹彦部長

講演のあとの意見交換では、参加者から出された意見や質問に対して小熊さんが一つひとつ丁寧に答えて下さいました。



日本の生協の2020年ビジョン学習会の様子

(参考：5つのアクションプラン)

- 1 ふだんの暮らしへの役立ち・・・生涯を通じて利用しつづけられる事業の確立、宅配シェア20%以上など
- 2 地域社会への貢献・・・事業・活動のインフラを活用し、夕食宅配や買い物支援、見守り活動など
- 3 世界と日本社会への貢献・・・国際的な貢献(途上国)、核兵器廃絶と平和(ユニセフなど)、食料自給率の向上の取り組みなど
- 4 元気な組合員組織と職員組織・・・元気に参加できる活動、組合員の願いに共感できる組織風土、ワークライフバランス、担い手育成など
- 5 さらなる連帯の推進と活動基盤の整備・・・リージョナル事業連帯、地域密着の民主的運営など

日本生協連の政策討論集会在開催されました

1月13・14日(木金)

日本生協連の「2011年全国政策討論集會」が1月13日(木)、14日(金)、グランドプリンスホテル赤坂で開催されました。今年は「全国生協の2010年度まとめと2011年度方針」に加え、「日本の生協の2020年ビジョン」の討議を深める機会とあつて、全国から会員生協290名をはじめ役職員・事務局など436名が参加し、熱気あふれる討論集會となりました。群馬県からはコープぐんまから常勤役員2名と非常勤理事1名、県連から役職員2名が参加しました。



2011年全国政策討論集會の様子

山下俊史日生協会会長は開会のあいさつで、ビジョンについて、1人が万人を想い万人が1人を大切にしていける社会をつくるために、信頼と連帯の精神がいつそう重みを増す。ビジョンを共有し、国際協同組合年の取り組みをビジョン実現のキックオフとしていきたい、と述べ、TPP問題や社会保障

と税・財政問題の取り組みについて、暮らしの立場からどうとらえるかを考え“気持ちは熱く、議論は冷静に”進めていくと述べました。

初日の全体会と二日目の分散会(第1～3)において計82名から様々な意見が出されました。

群馬県消費者団体連絡会（会長：中嶋源治県連会長）は1月17日に開催された幹事会においてTPP問題について協議し、『農林水産業が破壊されるようなTPPへの参加に反対します』との声明を決議しました（下記に全文掲載）。さらに2月3日の幹事会では、JA群馬中央会から営農支援センター農業対策部長の榎原俊彦氏を招いて学習会を開催し、JA群馬中央会の呼びかけに応え、「TPP交渉への参加に反対し食と地域・生活を守る群馬県ネットワーク」への参加などの取り組みを確認しました。

農林水産業が破壊されるようなTPPへの参加に反対します

2011年1月
群馬県消費者団体連絡会

政府は11月9日、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について「関係国との協議を開始」する基本方針を閣議決定しました。農業を含む貿易について原則100%の関税撤廃となるTPPへの参加が、日本農業に壊滅的な打撃を与えることは必至です。

農水省の試算でも、関税撤廃によって日本の食料自給率（カロリーベース）は現在の40%から13%に下がるとしており、特に米は90%、小麦は99%の生産減少が見込まれます。国内農産物の生産減少額は4兆5千億円、水田が持つ環境保全など多面的機能の喪失額が3兆7千億円、関連産業への影響は国内総生産で8兆4000億円の減少、農業食料産業の生産減による就業機会の減少は地方を中心に350万人と、TPPへの参加は地域経済にとっても取り返しのつかない打撃を与えるとされています。

群馬県でも、米、麦、こんにゃくへの生産影響は90%約288億円とされ、生乳、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵への影響は60%約492億円と試算され、県農業生産額2,207億円の35%780億円の減産が見込まれます（県農政部試算）。

世界では異常気象や新興国の食料輸入の増加、バイオエネルギー用の農産物需要の増大などで穀物価格の値上がりが続き、発展途上国では農地と食料の奪い合いが始まっています。これ以上食料を海外に頼ることは、国民の命と国の安全保障に関わる重大問題です。

また、TPPは農業だけにとどまらず、金融、保険、公共事業の入札、医師、看護師、介護士などの労働市場の開放も含まれ、労働者の賃金もアジア諸国の低賃金との競争にさらされ、大幅に引き下げられる危険性も指摘されています。

日本の農業が発展するための実効性のある総合的な政策が国民に明らかにされ、国民合意がなされることが必要であり、今の状況でのTPP交渉への参加に強く反対します。



地域語部の会 参加者募集

ちょっと気になるさかなの話



話題提供：一場 幸雄 氏 (株式会社フレッセイ執行役員・生鮮部長)

2月16日(水) 14:00~15:30 (13:30から受付開始)

渋川中央公民館2F講義室 (渋川市渋川908-21)

ぐんま食の安全・安心県民ネットワークでは群馬県との協働事業として「第8回地域語部の会」を開催します。「ちょっと気になるさかなの話」をテーマとした意見交換会です。2月16日(水) 14:00~15:30、渋川中央公民館で開催します。

参加申し込みは、電話・FAX・メールのいずれかで、①氏名②住所③電話番号④職業(所属団体)をお知らせください。(2月14日〆切、先着順30名・参加費無料。定員を超え参加いただけない場合のみ連絡します)

申し込み・お問い合わせ先：ぐんま食の安全・安心県民ネットワーク事務局(群馬県生活協同組合連合会内)

電話：027-234-2376、FAX：027-234-8244、

メール：mail@gunma.kenren-coop.jp

●●● 県連便り ●●●

県連活動日程

- 2月 7日 県連事務局会議①
- 8日 消費者まつり実行委員会④
- 9日 女性協運営委員会⑧
- 10日 県農畜産物販売戦略協議会幹事会
- 14日 県消費者苦情処理員会、前橋市消団連幹事会
- 15日 県食料産業ｸﾞﾙｰﾌﾟ協議会企画委員会
県農畜産物販売戦略協広報戦略部会
- 16日 地域語部の会
- 17日 常務理事会⑤
- 18日 日生協ビジョン(第2次案)討論会
- 22日 前橋市消団連視察研修
- 23日 都県連責任者会議
- 26日 消費者まつり会場設営
- 27日 消費者まつり
- 3月 1日 フートピア21事務局会議
- 3日 県消団連幹事会、地連大規模災害対策協議会
- 7日 県連事務局会議⑫
- 8日 県連組織部会、地連組合員活動委員会
- 9日 女性協運営委員会⑨
- 11日 地連職域生協協議会
- 12日 女性協組合員学習交流会
- 15日 食の現場探求隊⑦
- 17日 県連理事会⑥

女性協 組合員学習交流会のお知らせ

国際協同組合年スローガン
共同組合がより良い社会を築きます

今なぜ協同組合は
これほど期待されているのか
～国際協同組合年を知る～(仮題)

講師：栗本昭 氏

公益財団法人生協総合研究所主任研究員

3月2日(土) 10:00~12:00

前橋市総合福祉会館
第1・2会議室

定員100名
参加申し込みが必要です(参加費：無料)

- 3月7日(月)までにお申し込み下さい
- 各生協の女性協窓口担当または群馬県生協連にお申し込み下さい
・県生協連 027-234-2376
- 保育を希望される方は3月2日(水)までにお申し込み下さい。お子さんの名前、性別、年齢をお知らせ下さい。